

第4学年 音楽科学習指導案

1. 題材 「音をきき合って合わせよう」

2. 題材のねらい

- 声や音が重なり合う響きを感じ取って、聴いたり演奏したりすることができるようにする。
- 互いの声や音を聴きながら、拍の流れに乗って演奏の仕方を工夫することができる。

3. 教材

「空と風のきっぷ」 （作詞：高木あきこ 作曲：黒沢吉徳）

4. 指導計画（全4時間）

第1次 聴いたり歌ったりして、旋律の重なり合う楽しさを感じ取る。（2時間）

（2／2 本時）

第2次 声の重なり合う響きを感じ取って歌い方を工夫する。（2時間）

5. ICT活用のポイント

授業場所	音楽室
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 一斉学習 <input type="checkbox"/> グループ学習 <input type="checkbox"/> 個別学習 <input type="checkbox"/> 補習
ICTを活用する場面	導入 <input checked="" type="checkbox"/> 展開 <input type="checkbox"/> まとめ <input type="checkbox"/> その他
ICTを主に活用する者	<input checked="" type="checkbox"/> 教員 <input type="checkbox"/> 学習者 <input type="checkbox"/> その他
ICTを活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 <input checked="" type="checkbox"/> 繰り返しによる定着 <input checked="" type="checkbox"/> モデルの提示 体験の想起 比較 振り返り その他（ ）
活用するICT	ミュージックデータプレーヤー「伴奏くん」

6. セールスポイント

- ・パートキャンセル機能を活用し、必要なパートだけを演奏することができる。
- ・リピート機能により、曲の一部を繰り返し練習することができる。
- ・テンポをゆっくりにし、学習者のレベルに応じた練習ができる。

7. 教材 自作 既存

8. 本時

(1) 目標

○低音部の音程がとれ、二部合唱をすることができる。

(2) 展開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
<p>1. 主旋律を歌詞唱する。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>「伴奏くん」(伴奏のみ)</p> </div> <p>2. 二部合唱の準備をする。</p> <p>○低音部の練習をする。</p> <p>○発声に気をつけながら、二部合唱に慣れる。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>ピアノ (単音)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>「伴奏くん」(低音部・伴奏)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>「伴奏くん」(伴奏のみ)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>「伴奏くん」(高音部・伴奏)</p> </div> <p>○高音部と低音部に分かれて歌う。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>「伴奏くん」(低音部・伴奏)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>「伴奏くん」(伴奏のみ)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>「伴奏くん」(高音部・伴奏)</p> </div>	<p>○息をたっぷりと使ったり、口をしっかり動かしたりするなど、基本的なことをおさえながら歌わせる。</p> <p>○自信と意欲を持たせられるように、子どもの近くへ行ってよいところを具体的にほめる。</p> <p>○音程がとりにくいところは、階名唱をさせる。</p> <p>○低音部で声が固くならないように気をつけさせる。</p> <p>○互いに聴き合いながら歌えるように、柔らかい発声を心がけさせる。</p> <p>○「伴奏くん」のパートキャンセル機能を活用し、子どもの能力に応じた音を流して二部合唱に慣れさせる。</p> <p>○両方のパートが体験できるよう交替で歌わせる。</p>